

大雨による防災情報 (第10報)

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制(砂防)】継続

現在、湯沢河川国道事務所では、8月9日に発生した仙北市供養佛地区の土砂災害以降、災害対策支部警戒体制(砂防)を継続しています。
台風18号の影響による、9月16日18時現在の八幡平山系秋田県側(仙北市田沢湖生保内地内)の観測所雨量は次のとおりです。
なお、明朝より管内砂防施設の巡視点検を実施します。

◆砂防降雨状況(9月16日18時00分現在)

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	時間雨量 17~18時	
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	149mm	1mm	※警戒体制基準雨量 超過観測所
	熊ノ台	80mm	0mm	※注意体制基準雨量 超過観測所
	生保内	131mm	0mm	※警戒体制基準雨量 超過観測所
	小先達	57mm	0mm	

※警戒体制基準雨量：連続雨量120mm、または時間雨量40mm
 ※注意体制基準雨量：連続雨量80mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日 9時00分	—	—

◆その他

現時点では、当該地区での土砂災害情報は入っておりませんが、引き続き気象情報にご注意願います。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
 TEL 0183-73-3174 (事務所代表)

〈砂防〉 調査第一課長 畑山 作栄 (内線351)